

■■■ 元気なうちに整える ■■■

ゆるい しゅうかつしんぶん 終活新聞

2021年(令和3年)10月

第23号

終活は人生を終わることへの準備だけではなく、人生をよりよく生きること。生活の中で知っておくとお得な情報をわかりやすくお届けします！

= 老後にお金がない対策 = 60代で預貯金がない人 29.4%

金融広報中央委員会の「家計の金融行動に関する世論調査[単身世帯調査](令和2年)」では、金融資産の有無の調査において60代「保有していない」と回答する人が29.4%でした。日本では、お金を持っている、持っていない、金融資産の二極化、格差が今後も広がると懸念されています。老後の収入の柱は“年金”になると思いますが、実際のところ年金受給者は「受給額は少ない、生活が苦しい」と口を揃えて言います。退職後の人生が長く、寿命も延び、超高齢化社会の日本。明るい兆しのない、衰退している現実を直視しておかなければなりません。現役のうちから年金以外の老後資金を確保しておかなければ、生活が困窮することも考えられます。意識の高い若い人も老後を見据えた資産形成を積極的にする動きもあります。さて、実際に60代で預貯金が少ない人は何をすれば、どうすればよいのでしょうか？

【60代でお金がない人の対策】

① 生活を見直す

入ってくるお金(収入)と出ていくお金(支出)を確認し、赤字にならない生活が送れるようにします。支出を抑えるポイントとして「固定費」と「流動費」にわけ、固定費である生命保険料や携帯電話代などを抑える工夫をします。

② 長く働く

平均寿命、男性81歳・女性87歳、定年やリタイア後の人生が長くなりました。年金受給だけで生活するのは厳しく、金融資産を切り崩す人は多いでしょう。令和3年4月からは70歳までの就業確保(努力義務)となりました。老後もできる限り、長く働くように考えておきましょう。

③ 年金受給を確認

20歳から40年間すべて保険料を納付すれば、国民年金が月額約6.5万円受給できます(昨年度より減額)。サラリーマンは厚生年金が上乘せされます。早いうちから、自分がいくら年金受給できるか「ねんきん定期便」や「ねんきんネット」で確認しておきましょう。繰上げ・繰下げも確認しましょう。

どうしてもお金が厳しい場合

▼子供の扶養に入る

65歳未満で年金収入が108万円以下の人や、65歳以上75歳未満で年金収入が158万円以下なら、健康保険料の負担が全額免除されます。扶養に入ることによって、子供に扶養控除(老人扶養親族)が適用され、節税効果もあります。

▼リバースモーゲージ

自宅を担保にして生活資金を借入れる方法。ただし、長生きすることのリスクや、資産価値評価の下落、金利の上昇などのリスク、相続人とのトラブルも考えられます。

▼生活保護制度 生活困窮者自立支援制度

年金だけでは生活できない、働きたくても働ける状態ではない、親族から援助を受けることができない…、人生あきらめずにまずは相談窓口へ！

□ 今年やりたかったことを確認し、行動する

先月は自粛に伴い「ゆるい終活新聞」もお休みしました。■今年もあと少し！今年やりたかったこと、進んでいますか？忙しい年末のために、今から準備を進められていますか？■やることに追われている時、「やらないこと」を決めることは重要です。新しいことをはじめるなら、今あることを手放してから…これは整理する時にも使われる基本です。両手いっぱい抱えた状態で、新しいものを持つことはできませんね。■やりたいことがあるけれど何もできていない、というのももったいないことです。時間は誰もがみんな平等で有限です。今の行動が、一度しかない自分の人生をきっと豊かにするはず。身軽に動ける「今」、少しずつ行動していきましょう！



「終活ノオト」
公式LINE